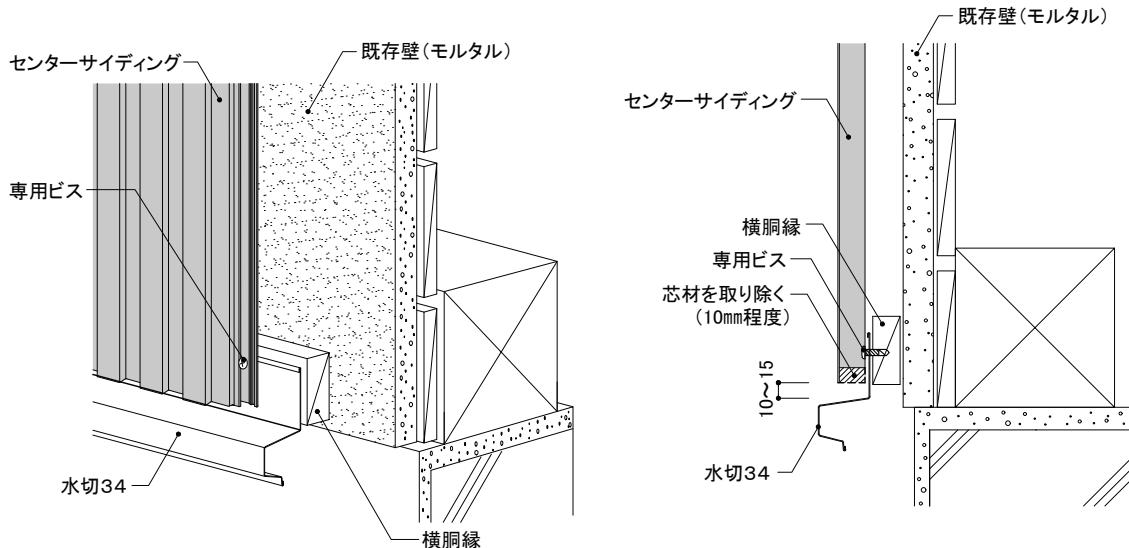


| センターサイディング | 工法 | 下地 | 張り方向 | 木胴縁組 |
|------------|------|------------|------|-------------|
| | 重ね張り | 木造 モルタル | 縦 | 横胴縁@500mm以下 |

3) 土台部

①水切34

- 水切34は、専用ビス(ステンレスビス $\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
- センターサイディング下端の芯材を、10mm程度取り除きます。
- センターサイディング下端と水切34の間に、10~15mmの隙間を設けます。
- センターサイディングは、専用ビス(ステンレスビス $\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)で実部に留め付けます。



3) 土台部

②水切34+N端部カバー

- 水切34は、専用ビス(ステンレスビス $\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
 - N端部カバーは、専用ビス(ステンレスビス $\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)を用いて、胴縁に500mm以下の間隔で水平に留め付けます。
 - N端部カバーアー下端と水切34の間に、10~15mmの隙間を設けます。
 - センターサイディング下端は必要に応じてNS型段付パッカ材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。
(※)
 - センターサイディングは専用ビス(ステンレスビス $\phi 4.1\text{mm} \times 16\text{mm}$)で実部に留め付けます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製のN端部カバーなどを使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付パッカ材は不要です。

